

記入要領①

扶 養 の 申 立 書

1 被扶養者の氏名等	氏 名	性別	生 年 月 日		続柄	配偶者の有無	住居区分	*国内居住要件
	大岡山 つばめ	☒ 男 ☐ 女	S ☒ H ☐ R 9 年 7 月 5 日 (22 歳)		長男	☐ 有 ☒ 無	☐ 同居 ☒ 別居*	例外該当 → 4 へ
2 被扶養者の収入状況等	☐ 無職無収入です。 ☐ 公的年金収入（遺族・障害年金含む）が、年間 _____ 円です。 その他の収入が （ ある ・ なし ） ☐ 雇用保険にかかる申立書のとおりです。 ☐ 雇用保険による収入が、日額 _____ 円です。 ☐ 事業・農業・資産等の収入が、年間 _____ 円です。 ☒ パート・アルバイト等（個人年金を含む。）による収入が、 月額 40,000 円 × 12 月 ÷ 年間推計収入額 480,000 円です。 ☒ 別居のため、月60,000円の送金をしています。（年間推計送金額 720,000 円） ☐ 被扶養者 現況申立書（海外在住）のとおりです。 ☐ その他（ _____ ）							
※ 3 扶養義務者の状況	氏 名	続柄	年齢	同居・別居の 区 別	職業	年間収入額		
	大岡山 すずめ	母	55	別居	会社員	250万 円		
☒ 有（右記のとおり） ☐ 無								
【3欄】扶養の申立をする被扶養者(子)からみた扶養義務者(親)を記入してください。 扶養義務者のうち、年間収入の多い方が扶養することになります。年間収入額は必ず記載ください。 尚、扶養義務者を被扶養者として認定している場合は記入の必要はありません。								
4 組合員が扶養(生計を維持)しなければならない具体的な理由	*国内居住要件の例外【①外国に留学 ・ ②海外赴任に同行 ・ ③就労以外の一時的渡航（観光・保養・ボランティア等）・④その他（ _____ ）】該当のため（ _____ ）を添付します。 出生以来、私が扶養している。現在は大学院に通っており、アルバイトの収入も少額である。生活費の仕送り、および学費はすべて組合員である私が負担している。							
【4欄】できるだけ詳しく記入してください。いつから(時期)・どのように(状況)・なぜ(理由) 就学中でない場合は就労できない理由を具体的に記入してください。								
5 被扶養健康保険	【5欄】記入不要							

※ 扶養義務
(注) □欄には、該当事項に必ずチェック印してください。

上記のとおり、認定を受けようとするものは、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

なお、被扶養者に認定限度額〔月額108,333円（年額130万円）ただし、60歳以上の年金受給者又は障害年金受給者は年額180万円〕以上の所得が生じた場合、又は扶養の事実がなくなった場合には、延滞な

文部科学

※氏名を記入
※日付を記入

令和 3 年 9 月 1 日

大学院理工学研究科〇〇専攻
大岡山 工大

組合員氏名 _____

記入要領② 親・義理の親・きょうだい等

扶 養 の 申 立 書

1 被扶養者の氏名等	氏 名	性別	生 年 月 日	続柄	配偶者の有無	住居区分	*国内居住要件
	目黒 春子	男 ②女	①S H・R 29 年 5 月 5 日(66 歳)	義母	有 ②無	①同居 別居*	例外該当 → 4 へ
2 被扶養者の収入状況等	☐ 無職無収入です。 ☒ 公的年金収入(遺族・障害年金含む)が、年間 <u>650,000</u> 円です。 その他の収入が (ある ・ なし) ☐ 雇用保険にかかる申立書のとおりです。 ☐ 雇用保険による収入が、日額 _____ 円です。 ☐ 事業・農業・資産等の収入が、年間 _____ 円です。 ☐ パート・アルバイト等(個人年金を含む。)による収入が、 月額 _____ 円×12月÷年間推計収入額 _____ 円です。 ☐ 別居のため、月 _____ 円の送金をしています。(年間推計送金額 _____ 円) ☐ 被扶養者 現況申立書(海外在住)のとおりです。 ☐ その他 (_____)						
※ 3 扶養義務者の状況	氏 名	続柄	年齢	同居・別居の 区 別	職業	年間収入額	
	千束 冬子	子	41	別居	パート	80万 円	
☒ 有(右記のとおり) ☐ 無							
【3欄】 扶養の申立をする被扶養者からみた扶養義務者(配偶者・子・親)を記入してください。 扶養義務者のうち、年間収入の多い方が扶養することになります。年間収入額は必ず記載ください。 尚、扶養義務者を被扶養者として認定している場合は記入の必要はありません。							
4 組合員が扶養(生計を維持)しなければならない 具体的な理由	* 国内居住要件の例外【①外国に留学・②海外赴任に同行・③就労以外の一時的渡航(観光・保養・ボランティア等)・④その他(_____)】該当のため(_____)を添付します。 平成20年12月より義母(妻の母)と同居を始め、以降私が扶養している。義父は他界しており、義母の収入は年金のみで主として私が生計を支援している。妻は私の被扶養者であり、他家に嫁した妻の妹(千束冬子)も経済的に余裕がないため、今後も私が義母を扶養する。						
5 被扶養者の健康保険名	【4欄】 できるだけ詳しく記入してください。いつから(時期)・どのように(状況)・なぜ(理由)60歳未満の場合は就労できない理由を具体的に記入してください。 【5欄】 記入不要						

※ 扶養義務者
(注) □欄に

上記のとおり、認定を受けようとするものは、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

なお、被扶養者に認定限度額〔月額108,333円(年額130万円)ただし、60歳以上の年金受給者又は障害年金受給者は年額180万円〕以上の所得が生じた場合、又は扶養の事実がなくなった場合には、延

文部

※氏名を記入

※書いた日付を記入

令和 3 年 9 月 1 日

学院理工学研究科〇〇専攻

大岡山 工大

所属印可
組合員氏名()